



国際ダークスカイ協会 東京支部 (IDA 東京) 事務局
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経営学部第 57 研究室
Fax: 03-3945-7477 Mail: ochi (at) idatokyo (dot) org

プレスリリース カテゴリー【環境・まちづくり】

報道関係者各位

2015 年 10 月 30 日

国際光年イベント「秋の夜長にダークスカイ・トーク」

明るすぎる都会に警鐘を鳴らし、未来の夜景のあるべき姿を考える講演会

照明・都市デザイナー 2 名の対談「2050 年の夜景を考える」

2015 年は国連の定めた国際光年。しかし節電の風潮は薄れ、都会には過剰照明やイルミネーションが輝いています。2020 年の東京オリンピック開催、そしてさらなる未来へ、都会の夜景はどう変わっていくべきか。2 名の照明デザイナー・都市デザイナーが、対談形式で語ります。後援：環境省、国立天文台、WWF ジャパン、日本照明委員会

登壇者プロフィール、イベント情報

➤ 面出 薫 氏 (照明デザイナー)

1950 年東京生まれ。株式会社ライティングプランナーズアソシエーツ代表取締役。照明文化研究会「照明探偵団」の団長として精力的に活動を展開中。武蔵野美術大学客員教授。

東京国際フォーラム、JR 京都駅、六本木ヒルズ、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、東京駅丸の内駅舎などの照明計画を担当。著書に『世界照明探偵団』『陰影のデザイン』など多数。

➤ 中野 恒明 氏 (都市デザイナー、芝浦工業大学教授)

1951 年山口県生まれ。芝浦工業大学システム理工学部教授。アプル総合計画事務所代表。専門は都市デザイン、都市計画から建築設計、景観設計まで幅広く実践活動。

代表的作品に、門司港地区まちづくり、横浜みなとみらい 21 新港地区景観計画など。著書に『都市環境デザインのすすめ：人間中心の都市・まちづくりへ』『日本の都市環境デザイン』など。



人工衛星から見た夜の日本列島 (C) NASA



面出 薫氏

中野恒明氏

名称 一般講演会「秋の夜長にダークスカイ・トーク」

日時 2015 年 11 月 7 日 (土) 17:30~19:30

会場 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区白山 5-28-20)

主催 国際ダークスカイ協会東京支部 (IDA 東京)

参加方法 ウェブサイトから参加申込 (各日先着 500 名)、入場無料

ウェブサイト <http://idatokyo.org/talk2015/annai.html>



■ 国際ダークスカイ協会 (IDA)、IDA 東京とは

国際ダークスカイ協会は、人工照明による光害問題に取り組む NPO 団体です。その東京支部 (略称 IDA 東京、代表：東洋大学経営学部准教授 越智信彰) は、2013 年 1 月に開設されました。環境分野・照明分野・天文分野等の専門家が集まり、光害を抑え省エネにも配慮した良好な光環境の形成を目指し活動しています。 <http://idatokyo.org>

■ 本件に関するお問い合わせ先

国際ダークスカイ協会 東京支部 事務局 (担当：越智信彰)
FAX : 03-3945-7477 E-mail : talk2015 (at) idatokyo (dot) org

